



第 10 回台北国際図書展
TIBE2002「日本年」
実 施 報 告 書



2002 年 6 月

TIBE2002「日本年」実行委員会

目 次

ごあいさつ	1
渡邊隆男 (TIBE2002「日本年」実行委員会実行委員長)	
TIBE2002「日本年」開催概要	2
開会式・歓迎レセプション等	4
TIBE2002会場図	5
「日本館」配置図	6
日本館会場・集合ブース	7
出展者一覧	8
会場風景	9
個別ブース出展者	10
催事一覧	12
催事風景	13
収支決算	15
実行委員会名簿	16

ごあいさつ

台湾は、世界の中でも最も日本語が通じ、日本人に対して好意的な場所です。日台間の出版交流も、かつては海賊版が横行していた時代もありましたが、台湾の経済発展や、国内著作権法の整備等、様々な努力によって大きく改善され、今は安心して出版ビジネスを行うことができるようになりました。

その台湾で毎年開催されている台北国際図書展で今年は「日本年」を実施いたしました。日本年のテーマは、「書國日本」であります。「本を愛する国日本」という意味です。今、出版不況に苦しんでいる日本ではありますが、私達はあえてこのテーマを掲げました。新しいメディアの出現、流通機構の制度疲労、若者の読書離れ等々、出版不況にはさまざまな原因があると思います。そのひとつひとつをしっかりと検証し、新しい時代を築いていかなければなりません。ただ、はっきりひとついえるのは、このような出版不況の時代であっても、一冊一冊の本の持つ輝きが失われたわけではないということです。

今回、われわれは、フェアの主催者から提供された25ブースを集合ブースとし、個別出展者の50ブースを加えて、「日本館」を構成しました。集合ブースでは、11分野に約1400冊の出展をいただき、極めて好評でした。

また、関連催事では、合計14のシンポジウム、講演会等を実施いたしました。

今回の催事プログラムを作成するに当たっては、東京財団からも多大なご協賛を賜るとともに、4つのシンポジウム等を自ら企画・実施していただきました。特に「心に残る1冊」シンポジウムは、大盛況となり、台湾のマスコミも大きく取り上げました。

私たち「日本年」実行委員会関係者は、この日本年が、一過性のお祭りで終わってしまうことなく、これからも長く、日本と台湾との出版交流、文化交流、そしてその根底になければならない人と人との交流を、少しでも促進し発展させていくためのきっかけになるように心から望んでおります。

最後に、ご出展いただきました出版社、実行委員会の委員の皆様、出展品搬送にご協力いただきました(株)トーハン様、その他すべての関係者の皆様に深く御礼申し上げます。



TIBE2002「日本年」実行委員会
実行委員長 渡邊隆男

TIBE2002「日本年」開催概要

開催までの経緯

台北国際図書展 (Taipei International Book Exhibition, TIBE) では、1998 年以来、毎回の図書展に特別招待国 (Country of Honor) を定め、特別パビリオンでの出版物展示、作家等を招いてのシンポジウム、講演会等の関連催事を行っている。過去には 1998 年にドイツ、1999 年はイタリア・ボローニャブックフェアによる「国際児童テーマ館」、2000 年はイギリス、2001 年はフランスが招かれた。これに続いて、2002 年は日本を特別招待国としたい旨の要望が、同図書展を主催する中華図書出版事業発展基金会から当協会に対してなされた。当協会としては、一昨年 9 月 26 日の理事会で大筋でこの要請を受諾する方針を承認し、業界挙げての実行委員会を編成し、準備に当たることとした。

事業内容

- ①名称 第 10 回台北国際図書展における「日本年」
- ②全体テーマ “書國日本” (Japan, A Country in Love with Books)
- ③開催日時 2002 年 2 月 19 日 (火) ～ 24 日 (日)
- ④主催 TIBE2002「日本年」実行委員会
- ⑤催事協賛 東京財団
- ⑥会場 台北世界貿易センター (Taipei World Trade Center)
- ⑦内容

a. 「日本館」の設置

・図書展会場中央に、面積 225 m²の「日本館」 (=集合ブース)、50 小間の日本からの出展者個別ブースを配置し、日本の出版文化の紹介を行う。

b. 日本作家等によるシンポジウム、講演会等の実施

台湾で著名な日本の作家をはじめ、翻訳者、学者、出版者等により、図書展内の特設ステージ等のスペースでシンポジウム、講演会等を実施する。

実行委員会参加団体

(社) 日本書籍出版協会	(社) 日本雑誌協会	(社) 出版粋会
(社) 自然科学書協会	日本児童図書出版協会	大学出版部協会
(社) 日本出版取次協会	日本電子出版協会	(社) 出版文化国際交流会
日本書店商業組合連合会	日本洋書協会	(財) 出版文化産業振興財団

第 10 回台北国際図書展 (TIBE2002) は、2 月 19 日(火)から 24 日(日)まで、台北国際貿易センターで開催された。TIBE (Taipei International Book Exhibition) は、東アジア地域では北京と並んで最大級の国際ブックフェアである。今年は、約 32,000 m²の会場に 47 カ国から 1,015 の出展者があった。

「日本年」開催にあたっては、TIBE を主催する中華図書出版事業発展基金会から、25 小間 (1 小間=9 m²) が無償で提供され、このスペースを日本の出版社からの出展品を展示する集合

ブースとし、それに隣接して個別出展者のブースが配置された。個別出展者ブースは最終的に26者50ブース(4ブース分は通路に使用)となり、集合ブースを合わせた75ブース(675㎡)の「日本館」が構成されることとなった。集合ブースは、人文・社会科学、自然科学、文学、児童、芸術、辞典・学参・語学、趣味・実用、雑誌、コミック、電子出版、台湾からの翻訳書の11分野に分けての展示が行われ、合計で1400冊が展示された。また、集合ブースの中央には、催事のひとつとして実施したシンポジウム「蔵書票の東西」にちなんだ蔵書票が展示された。そのほか、ブックスタートパックの展示、電子文庫パブリのデモンストレーションも行われた。

日本年の開会式は、19日正午から、図書展全体の開会式に引き続いて行われた。実行委員長の渡邊隆男・書協理事長から、「日本年のテーマは、『書國日本』、本を愛する国日本、という意味である。日本の出版界は1997年以降厳しい状況にあるが、われわれ出版人は今も『書國日本』を確信しており、真の深い英知はネットワークの上ではなく、本の上にごそ存在すると信じている。この日本年が日本と台湾の出版交流の大きなステップとなることを期待する」との開会挨拶があった。また、今回の集合ブースへの出展品のうち大部分は、国立台中図書館に寄贈されることになっており、渡邊実行委員長から程良雄・同館館長に目録が贈呈され、程館長からは、感謝状と同館所蔵の2万点に及ぶ日本語文献目録が贈られた。

集合ブースの出展品は、入場者から、高い関心を持って迎えられ、様々な質問がブースで質問に応じる事務局スタッフに浴びせられた。6日間を通した出展品への注文額は日本円で900万円以上に上った。

台湾の要人も開会式出席後の陳水扁総統をはじめ、張俊雄・前行政院院長(首相)や、李登輝・前総統等、数多くが集合ブースを訪れた。

また、「日本年」関連の催事としては、14のシンポジウム、講演会等が、図書展会場内の「劇場中心」(Meeting Point)、「休閒廣場」(Recreational Area)等で開催された。日本からの参加者としては、作家の曾野綾子氏、辻原登氏、児童画家の西巻茅子氏、漫画家の里中満智子氏等が講演会や、台湾側のパネリストとの対談会等を行った。さらに、『日本語台湾文献』のデータベース化における日台出版協力をテーマにしたシンポジウム、「台日文化交流の一大成果 — 国立故宮博物院名画・法書の完全複製をめぐる」と題し、中国の至宝である故宮博物院所蔵品の複製作成に関する、日本と台湾の協力とその成果について紹介するセッションについて、最近の出版不況を克服するために日本の出版界が取り組んでいる様々な試みについて報告したシンポジウム「1990年代の日本出版界」、「蔵書票の東西」と題し貴重なコレクションを紹介したセッション、さらに日本におけるブックスタート活動の紹介等、多彩な内容の催事が期間中を通し行われた。

この他、最も大きな規模で行われたのは、「心に残るこの1冊」と題するシンポジウムである。これは、今回の日本年催事に対して協力をいただいた東京財団の企画によるもので、前台湾総統の李登輝氏、評論家の金美齡氏、前東京外国語大学学長の中嶋嶺雄氏、東京財団会長の日下公人氏が参加した。当初は300人程度の会場を予定していたが、会期が迫るにつれ、多数の入場者が予想されるという事態になり、急遽、720人収容の会場に変更した。当日はその会場でも100人以上の立ち見が出る盛況となった。

2/19 Tue. a.m.12:00~

TIBE2002 「日本年」開会式



午前11時から行われたTIBE2002 開会式で挨拶する
陳水扁總統(左)と渡邊実行委員長



左から内田、呉、渡邊各氏および蕭錦利・中華圖書出版事業發展
基金会董事長、角川雜協理事長



寄贈圖書贈呈式：程良雄・國立台中
圖書館長に目錄贈呈



葉國興・行政院新聞局長



内田勝久・交流協會
台北事務所長



吳密察・文化建設委員會
副主任委員



程良雄國立台中圖書館長

歡迎レセプションー日本参加者のみなさん



左・中央：2/18(月)台北凱悅大飯店にて



右：2/20(水)アゴラガーデンにて



T I B E 2 0 0 2 会場図

台北世界貿易センター1号館 (台北市信義路5段5)

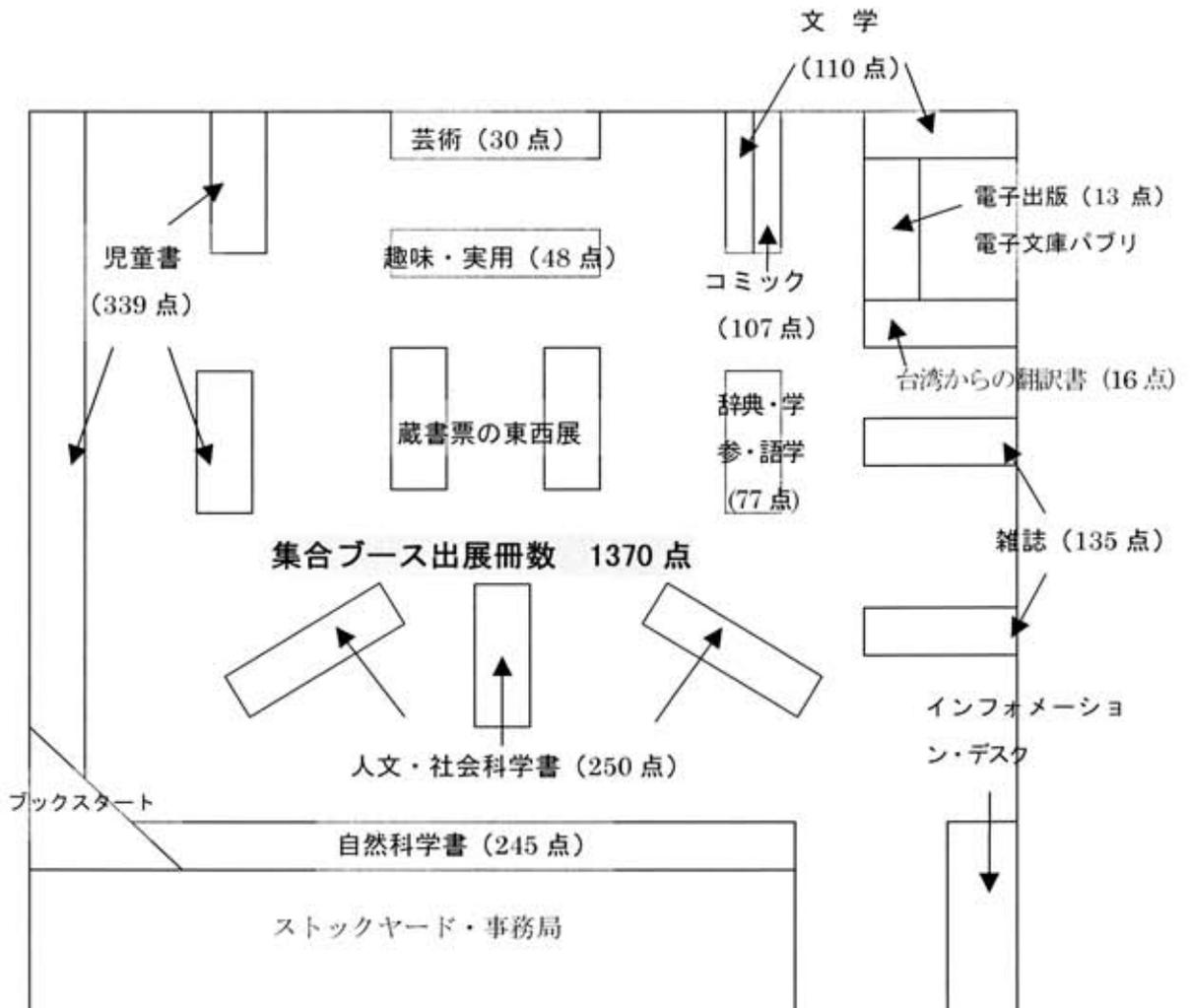


(このほか、2号館では、コミック、ゲームソフト等が展示された。)

「日本館」配置図



通路



日本館会場



視察に訪れた張俊雄前行政院院長（左）と李登輝前総統



蔵書票の展示

集合ブースに展示された 日本からの出品



出展者一覧(個別・集合ブース出展者を含む)

※ゴシックは、個別ブース出展者

あかね書房	工作舎	第一出版	ひかりのくに
アガリ総合研究所	皓星社	大明堂	ひさかたチャイルド
秋田書店	佼成出版社	ダイヤモンド社	日之出出版
朝日新聞社出版局	講談社	玉川大学出版部	評論社
朝倉書店	光文社	筑摩書房	福音館書店
アシェット婦人画報社	国土社	中央公論新社	富山房
アリス館	小峰書店	中央大学出版会	藤原書店
家の光協会	コロナ社	展転社	婦人生活社
医学書院	さえら書房	東海大学出版会	双葉社
郁文堂	産業図書	東京書籍	二見書房
医歯薬出版	三修社	東京大学出版会	プレジデント社
井上書院	三省堂	東京電機大学出版局	フレーベル館
岩崎書店	産能大学出版部	東京農業大学出版会	文化出版局
岩波書店	JTB出版事業局	童心社	文化通信社
インパクト出版会	実業之日本社	東方書店	文藝春秋
旺文社	思文閣出版	トーハン	文溪堂
大阪経済法科大学出版会	集英社	東北大学出版会	文研出版
オーム社	出版ニュース社	読書人	平凡社
オレンジページ	主婦と生活社	徳間書店	保育社
借成社	主婦の友社	ナカニシヤ出版	法学書院
海文堂出版	裳華房	中山書店	法政大学出版局
化学同人	小学館	南江堂	北水
学芸出版社	昭晃堂	二玄社	星の環会
学習研究社	彰国社	西日本新聞社	ポプラ社
鹿島出版会	昭文社	西村書店	ほるぷ出版
角川書店	照林社	日経ホーム出版社	マガジンハウス
金原出版	女子栄養大学出版部	日中出版	マリン企画
かもがわ出版	診断と治療社	日本経済評論社	丸善
河出書房新社	新潮社	日本経済新聞社出版局	光村教育図書
関西大学出版会	新日本出版社	日本工業出版	明治書院
紀伊國屋書店	人文書院	日本実業出版社	森北出版
技報堂出版	数研出版	日本児童図書出版協会	雄松堂書店
九州大学出版会	鈴木出版	日本書籍	有斐閣
教育図書出版会	スポーツ保健体育書目録刊行会	日本図書センター	養賢堂
京都大学学術出版会	聖学院大学出版会	日本放送出版協会	理工学社
共立出版	成美堂出版	日本貿易振興会	リードエグジビションジャパン
杏林書院	税務経理協会	農業書協会	リプリオ出版
金の星社	世界文化社	農山漁村文化協会	流通経済大学出版会
金芳堂	専修大学出版会	ノヴァ	緑風出版
くもん出版	創元社	培風館	理論社
ケイエムピー	総合法令出版	白泉社	麗澤大学出版会
研究社	草思社	白桃書房	露満堂
建帛社	創土社	PHP研究所	早稲田大学出版部
工業調査会	草土文化	東山書房	(以上175社)

会場風景



入場券売場付近

2号館 (コミック、ゲーム、電子出版等)



fnac文學cafe ほか





JTB 出版事業局



個別ブース出展者



紀伊國屋書店



日本放送出版協会



文藝春秋



白泉社



講談社



集英社



楷成社



農山漁村文化協会



農業書協会



スポーツ保健体育書目録刊行会



小学館



教育図書出版会

個別ブース 出展者



二玄社



中山書店



角川書店



主婦の友社



医学書院



三修社



雄松堂書店



マガジンハウス



女子栄養大学出版部



ポプラ社



リードエグジビション ジャパン



フレール館



オレンジページ



トーハン

Web12 「TIBE2002『日本年』実施報告書」(2002年6月)
TIBE2002「日本年」実行委員会

催事一覧

	タイトル	英文タイトル	月日	時間	場所	参加者
1	辻原 登氏と翻訳者の対談「私の文学世界：中国」	My Literary World: China	2/19(火)	13:00 - 14:20	M/P	辻原 登(作家) 林水福(翻訳家)
2	台日文化交流の一大成果 国立故宮博物院 名画・法書の完全複製をめぐって	Japan-Taiwan Cultural Exchanges on the Project of Reproducing Masterpieces in the National Palace Museum	2/19(火)	14:40 - 16:20	M/P	渡邊 隆男(二玄社社長) 林柏亭(故宮博物院副院長) 王麗庭(同 書画処長) 李義弘(画家)
3	「日本語台湾文献」のデータベース化に関する日台出版協力	The Database on Taiwan in Japanese	2/19(火)	16:30 - 17:50	M/P	榎山幸夫(中央大学法学部教授) 廣瀬順晴(駿河台大学文化情報学部教授) 松金公正(宇都宮大学国際学部講師) 川島真(北海道大学大学院法学研究科助教授) 吳密繁(台湾行政院文化部)
4	マンガ、アニメーション制作現場のデモンストレーション	The Making of Japanese Animation	2/20(水)	10:30 - 12:00	M/P	東映アニメーション セルシス
5	曾野綾子氏講演会「柔らかな人間関係」	Flexibility in Human Relations: Speech by Ms. Ayako Sono	2/20(水)	12:40 - 14:00	M/P	曾野綾子(作家)
6	90年代の日本出版界	The Japanese Publishing World in 1990s: Challenges to Diversity	2/20(水)	14:20 - 15:40	M/P	相賀昌宏(小学館社長) 金原 康(医学書院社長) 塚本 進(台湾角川書店) Chen Jih-Sheng(農学社)
7	蔵書票の東西	The East and the West of Bookplates	2/20(水)	14:30 - 16:30	F/C	内田市五郎(共立女子短大) 今村 喬(吾八書房)
8	川端香男里氏講演会「近代日本文学における西欧文学の影響」	The influence of Western Literature on Modern Japanese Literature	2/21(木)	9:30 - 11:00	M/P	川端香男里(川村女子学園人間文化学部長)
9	トークショー「ホットニュース・東京ポップ」	Talk Show "Hot news, Tokyo Pop" Manga, Cartoon/Film, Robot etc.	2/21(木)	12:00 - 13:30	R/A	Stuart Levy(ミクスエンタテインメント代表) 劉 黎児(中国時報東京支局長)
10	西巻茅子氏講演会「絵本 - こども - 私」	Picture for the Young: Speech by Mrs. Kayako Nishimaki	2/21(木)	13:50 - 15:10	R/A	西巻茅子(児童画家)
11	日本における「ブックスタート」運動の展開	BookStart Project in Japan	2/22(金)	10:00 - 11:30	R/A	松居直(NPOブックスタート支援センター理事長) 佐藤いづみ(同理事)
12	青樹明子氏講演会「北京・哈日族からの手紙」	Letter from 哈日族: Speech by Ms. Akiko Aoki	2/22(金)	14:00 - 15:30	R/A	青樹明子 青樹明子 (エッセイスト、元・北京放送日本語キャスター)
13	シンポジウム「心に残るこの1冊」	Symposium "The Book Gave Me a Deep Impact"	2/23(土)	15:00 - 17:00	TICC	中嶋清雄(前・東京外国語大学学長) 金 美鈴(評論家) 李 登輝(前・台湾総統) 日下 公人(東京財団会長)
14	シンポジウム「日本人にとってのマンガ」	Seminar: My Comics, My Life	2/24(日)	16:30 - 17:50	M/P	袁瓊瓊(コミック評論家) 里中満智子(漫画家) 頼有賢(漫画家)
TIBE記者会見						
	ウエルカムパーティー(中華図書出版事業発展基金会主催)	出席者全員参加	2/18(月)	14:00 - 15:30	世界貿易センター2階第3会議室	
	TIBE2002開会式	同上	2/18(月)	18:30 - 20:30	Grand Hyatt Hotel, Grand Ballroom	
	日本館開会式&ウエルカムパーティー(「日本年」実行委主催)	同上	2/19(火)	11:00 - 12:00	M/P	
	歓迎ディナー(中華図書出版事業発展基金会主催)	日本年関係者は72名招待	2/19(火)	12:00 - 13:00	集合ブース	
		Area(約100席、逐語通訳) F/C FNAC Café(約100席、逐語通訳) TICC	2/20(水)	18:30 - 20:30	Agora Garden, Taipei	

日本年催事

2/19(火) 台日文化交流の一大成果
国立故宮博物院 名画・法書の完全複製をめぐって



左から李義弘(画家)、渡邊隆男(二玄社社長)、林柏亭(故宮博物院副院長)、王耀庭(同書画処長)の各氏

2/19(火)「日本語台湾文献」のデータベース化に関する日台出版協力



左から松金公正(宇都宮大講師)、榎山幸夫(中京大教授)、吳密察(台湾行政院文化建設委員会)、廣瀬順皓(駿河台大教授)、川島真(北大大学院助教授)の各氏

2/20(水) 90年代の日本出版界



左から陳日陞(農学社)、金原優(医学書院社長)、相賀昌宏(小学館社長)、塚本進(台湾角川書店)の各氏

2/20(水) 蔵書票の東西



左から潘元石(台湾蔵書票協合理事長)、今村喬(吾八書房)、内田市五郎(共立女子短大教授)の各氏

2/23(土) シンポジウム「心に残る一冊」



左から中嶋嶺雄(前東京外国語大学学長)、李登輝(前台湾総統)、金美齡(評論家)、日下公人(東京財団会長)の各氏

2/22(金) 日本における「ブックスタート」運動の展開



松居直(ブックスタート支援センター理事長)、佐藤いづみ(同センター理事)の各氏

2/19(火) 対談「私の文学世界：中国」



左：辻原登氏(作家) 右：林水福氏(翻訳家)

2/20(水) 講演会
「柔らかな人間関係」



曾野綾子氏
(作家)

2/21(木) 講演会「近代日本文学における西欧文学の影響」



右：川端香男里氏(川村女子学園人間文化学部長)

2/21(木) 講演会
「絵本—こども—私」



西巻茅子氏
(児童画家)

2/22(金) 講演会「北京・哈日族からの手紙」



青樹明子氏(エッセイスト)

2/24(日) シンポジウム
「日本人にとってのマンガ」



写真上：里中満智子氏(漫画家)、写真下：頼有賢氏(漫画家)および袁瓊瓊氏(評論家)

2/21(木)
トークショー
「ホットニュース・東京ポップ」



左：劉黎兒氏(中国時報東京支局長)
右：Stuart Levy氏(ミクスエンタテインメント代表) (株)セルシス、(株)東映アニメーション

2/20(水) マンガ、アニメ制作
現場のデモンストレーション



収 支 決 算

【収 入】

実行委員会参加団体からの拠出		2,100,000
日本書籍出版協会		1,000,000
日本雑誌協会		600,000
出版文化国際交流会		500,000
出版社協賛金及び出版関連財団助成		9,150,000
財団法人石川文化事業財団		150,000
国際図書展運営株式会社		3,000,000
株式会社小学館		1,000,000
東京財団		5,000,000
出展社出展料		
個別ブース	ブース代・装飾料・その他	10,006,455
個別ブース図書出展料	1,000円×4,455冊 拡材等100カートン	4,705,000
集合ブース図書出展料	3,000円×1,316冊	3,966,000
受取利息		362
計		29,927,817

【支 出】

「日本館」設営費用		
集合ブース設営		5,293,050
個別ブース統一装飾		1,228,500
個別ブース出展料	ブース代・装飾料 44小間	8,053,955
出展図書輸送関係費用 (輸送、検品、通関、保険料等を含む)		1,769,666
催事実施費用 (招待作家等の旅費・滞在費・謝礼)		6,587,919
同 (PR資料、その他催事設営費)		1,311,280
翻訳・印刷費		
出展案内・申込用紙等		1,003,421
報告書製作		40,572
郵送費・通信費		223,000
レセプション費	日本館開会レセプション	373,800
現地要員費	3名×7日間	661,500
現地運営費		1,132,215
事務局費用		1,011,555
事務代行費	アイシーエス企画	892,715
支払源泉税	催事パネリスト	193,329
計		29,776,477
収支差額	日本書籍出版協会に返戻	151,340

TIBE2002「日本年」実行委員会 名簿

委員長

渡邊 隆 男 (二玄社)

副委員長

金原 優 (医学書院)

角川 歴彦 (角川書店)

新田 満夫 (雄松堂出版)

委員

前田 完治 (三修社)

朝倉 邦造 (朝倉書店)

小峰 紀雄 (小峰書店)

相賀 昌宏 (小学館)

古岡 秀樹 (学習研究社)

浜田 博信 (講談社)

山下 正 (東京大学出版会)

坂本 尚 (農山漁村文化協会)

大竹 英一 (医学書院)

牛来 辰巳 (コロナ社)

前田 俊秀 (三修社)

村松 邦彦 (主婦の友社)

渡辺 勲 (東京大学出版会)

安藤 龍男 (日本放送出版協会)

多田 光宏 (フレーベル館)

北原 暁彦 (法学書院)

今井 悠紀 (保育社)

木滑 良久 (マガジンハウス)

江草 忠敬 (有斐閣)

長谷川 秀記 (自由電子出版)

吉野 修二 (紀伊国屋書店)

岡田 誠二 (雄松堂出版)

野村 博信 (トーハン)

斎藤 滋 (日本出版販売)

五味 俊和 (日本書籍出版協会)

勝見 亮助 (日本雑誌協会)

是永 保子 (出版文化国際交流会)

平野 光一 (日本出版取次協会)

白幡 義博 (日本書店商業組合連合会)

奥田 修久 (出版文化産業振興財団)

高橋 紘 (日本洋書協会)

(順不同、以上 35 名)

展示小委員会

委員長 金原 優 (医学書院)

委員

朝倉 邦造 (朝倉書店)

大竹 英一 (医学書院)

白石 順人 (角川書店)

阿久津 勝 (講談社)

牛来 辰巳 (コロナ社)

浦城 寿一 (さ・え・ら書房)

前田 俊秀 (三修社)

永井 英男 (集英社)

吉野 修二 (紀伊国屋書店)

野村博信 (日本出版取次協会)

神谷 俊一 (主婦の友社)

石井 寿樹 (小学館)

渡辺 勲 (東京大学出版会)

錦織与志二 (東洋館出版社)

小河原正巳 (日本放送出版協会)

早川 義英 (文藝春秋)

北原 暁彦 (法学書院)

福島 聖氏 (ポプラ社)

是永保子 (出版文化国際交流会)

催事小委員会

委員長 新田 満夫 (雄松堂出版)

委員

渡辺 勲 (東京大学出版会)

福島 正和 (東方書店)

黒須 雪子 (二玄社)

多田 光宏 (フレーベル館)

岡田 誠二 (雄松堂出版)

高橋 紘 (日本洋書協会)

中泉 淳 (出版文化産業振興財団)

戸谷美苗 (日本の百冊翻訳の会)

吉田 義和 (東京財団)

阪井春美 (日本著作権輸出センター)

総務小委員会

小委員長 角川 歴彦 (角川書店)

委員

金原 優 (医学書院)

浜田 博信 (講談社)

前田 完治 (三修社)

相賀 昌宏 (小学館)

新田 満夫 (雄松堂出版)

江草 忠敬 (有斐閣)

五味俊和 (日本書籍出版協会)

勝見 亮助 (日本雑誌協会)

平野光一 (日本出版取次協会)

2002年(平成14年)6月20日 発行

TIBE2002「日本年」実施報告書

発行 TIBE2002「日本年」実行委員会
〒162-0828 東京都新宿区袋町6
日本出版会館内
Tel. 03-3268-1303
Fax 03-3268-1196